

知っておきたい 災害情報の 集め方



一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会

この刊行物は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



知っておきたい 災害情報の 集め方

目次

風水害・土砂災害に関する情報の入手と活用方法

—自分と家族の命を守る—

～このパンフレットの特色～ 3

1 災害情報の種類 4

警戒レベル・気象情報（警報）・避難情報・取るべき
避難行動を知ろう

2 すばやく避難するために 6

- ① ハザードマップでお住いの地域を確認
- ② 避難所までの避難ルートを確認
- ③ 情報を確認し、早めの行動を
- ④ ためらわずに早めの避難を
- ⑤ 移動が危険なときは垂直避難を

3 災害情報の入手方法 11

- ① 既存の情報源を確認しておく
- ② 防災アプリをダウンロードしておく
- ③ SNSを活用する
- ④ ウェブサイトを確認する

風水害・土砂災害に関する情報の 入手と活用方法

—自分と家族の命を守る—

～このパンフレットの特色～

- 毎年のように台風や、豪雨による被害が発生しています。
- このパンフレットは、風水害・土砂災害から命を守るための防災情報と避難
について、紹介しています。

1 災害情報の種類 (4～5ページ)

2 すばやく避難するために (6～10ページ)

3 災害情報の入手方法 (11～15ページ)

- 「コラム」では、避難時
や停電時に役立つサバ
イバル術について紹介
しています。
- このパンフレットを皆
さんのご家庭、地域の
防災力の向上にお役立
てください。



1 災害情報の種類

警戒レベル・気象情報(警報)・避難情報・取るべき避難行動を知ろう

2019年から気象庁では、気象情報(警報)に加えて、**5段階の警戒レベル相当情報**を発表しています。これに基づき、市町村では**警戒レベル**と避難情報を出します。

※気象庁が出す警戒レベル相当情報と市町村が出す警戒レベルとは、**必ずしも一致しない場合**があります。また、気象庁からの警報が出たら、市町村からの避難情報を待たずに、**自主的に早期避難を行う**よう心がけましょう。



2 すばやく避難するために

1 ハザードマップでお住いの地域を確認

ハザードマップとは、災害の危険がある場所を示した地図のことです。

洪水、土砂災害、津波等、様々なハザードマップが作成されています。ご家族や地域の皆さんで、**地域の危険が所について確認**しましょう。

「ハザードマップポータルサイト」
(<https://disaportal.gsi.go.jp/>)
から日本全国のハザードマップを確認することができます。



ハザードマップ



2 避難所までの避難ルートを確認

避難所までのルートを決めておきましょう。次のポイントに気をつけて確認します。

- 洪水や津波、地震など**災害の種類によって安全な避難所が変わる地域**があります。
- 夜間の見通しがきかない場所、フタの無い側溝**がある場所など、危険な場所を事前に確認し、より安全なルートを設定します。

3-1 非常持ち出し品の準備も忘れずに

避難時に持ち出す非常用持ち出しバッグは、すみやかに避難できる重さにしておくことが大切です。また、預金通帳が多数ある場合などは、**銀行口座番号、生命保険契約番号のメモ**を入れておくと安心です。

非常用持ち出しバッグの内容の例(人数分用意しましょう)




- 飲料水 食料品(カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど)
 - 貴重品(預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など)
 - 救急用品(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
 - ヘルメット 防災ずきん 軍手 懐中電灯 携帯ラジオ
 - 予備電池 携帯電話の充電器 衣類 下着 毛布
 - タオル 洗面用具 使い捨てカイロ 携帯トイレ
- ※感染症対策 手指消毒液(アルコール) マスク ウェットティッシュ
※乳児のいるご家庭は、ミルク・紙おむつ・ほ乳びんなども用意しておきましょう。

3 情報を確認し、早めの行動を

大型の台風が近づいてきた時や大雨が降ってきた時には、テレビ・ラジオ・スマホ等から正確な情報を集めます(情報の詳しい入手方法はこのパンフレットの11ページ~15ページをご覧ください)。

また、屋外に置いてある物品の整理や固定などに早めにとりかかりましょう。ホテルや台風の影響が少ない地域の親戚や友人の家などに避難することも考えてください。

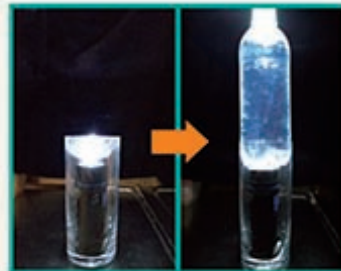
自宅周辺のがけや斜面等に次のような兆候が現れたら、ただちに避難しましょう。

がけ崩れ	地すべり	土石流
 <ul style="list-style-type: none">●がけにひび割れができる●小石がバラバラと落ちてくる●がけから水が湧き出す●湧水が止まる・濁る●地鳴りがする	 <ul style="list-style-type: none">●地面がひび割れ・陥没●がけや斜面から水が噴き出す●井戸や沢の水が濁る●地鳴り・山鳴りがする●樹木が傾く●亀裂や段差が発生	 <ul style="list-style-type: none">●山鳴りがする●急に川の水が濁り、流木が混ざり始める●腐った土の匂いがする●降雨が続くの川の水位が下がる●立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる

3-2 懐中電灯を「ランタン」に

懐中電灯を上向きに置き、その上に水を入れたペットボトルを置くだけで、周囲を照らすペットボトルランタンになります。

懐中電灯が小さい場合にはコップに入れて行います。
火を使わず、安全に明かりを点けることができます。



4 ためらわずに早めの避難を

1 暗くなる前、道路が冠水する前に避難

お年寄りや障がいのある人などは避難に時間がかかります。移動時間を考えて早めに自主避難することが大切です。夜間に大雨や水位の上昇が予想される場合には、**暗くなる前に避難**しましょう。道路が冠水しやすい地域では、冠水する前に避難します。



2 危険を感じたらすぐ避難

猛烈な大雨のときは屋外スピーカーによる避難情報が雨音で聞き取れなかったり、突然の大雨で避難情報の発令が遅れたりすることがあります。危険を感じたらすぐ逃げる自主避難が重要です。

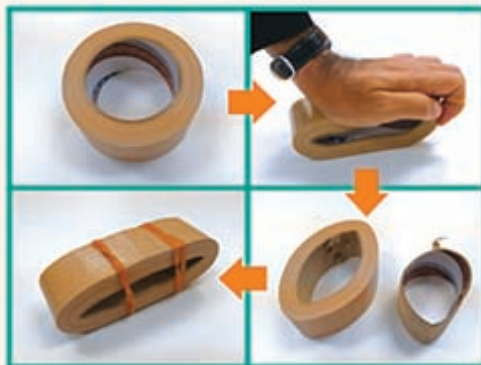
3 氾濫危険情報や土砂災害警戒情報等が出されたらすぐ避難

土砂災害等の危険がある地域にお住いの方は、**氾濫危険情報(河川)**、**土砂災害警戒情報**、**高潮特別警報**、**高潮警報**(警戒レベル4相当情報)が発表されたら、安全な場所に避難しましょう。市区町村からの避難勧告・避難指示(緊急)が発令されていなくても、家族・親戚や地域内の方々へ声をかけあって避難します。

363 非常用持ち出しバッグにもう一品「布ガムテープ」を

添え木を患部に固定したり、連絡メモとして壁に貼ったり布ガムテープはがあると便利。

芯の部分を柔らかくなるまで押し潰して取り除き、平らにして輪ゴムで束ねるとかさばりません。非常用持ち出しバッグの隙間に入れてみてはいかがでしょうか。



4 避難したらもどらない

大雨が止んでも河川の氾濫や土砂災害が発生するおそれがあります。安全が確認されるまで、避難場所から自宅にもどることは避けましょう。大事なものや持ち出し品を取り戻るのは危険です。

364 マイ・タイムラインを作成しましょう

マイ・タイムラインとは、台風の接近によって河川の水位上昇が予想される時などに、自分自身がとる防災行動を時間ごとに整理した個人防災行動計画です。台風を想定したタイムラインでは、台風が直撃する「**3～2日前**」「**1日前**」「**半日前**」「**5～3時間前**」など、時間ごとにどのような行動をとるか整理します。



- Step 1 洪水ハザードマップと避難場所、避難のルートとなる情報を確認**
- 避難指示(緊急)などの避難情報や土砂災害警戒情報など、どの情報が出たら避難を開始するか確認します。
- Step 2 洪水発生前までにとるべき基本的行動を考える**
- 今後の台風を調べ始める、川の水位を調べ始める、非常用持ち出しバッグをチェックする、避難しやすい服装に着替える、安全なところへ移動を始める、など基本的な行動とその順番を考えます。
- Step 3 家族や家庭の特徴を加味する**
- 車を持っている、祖父母と同居しているなど、自分の家庭にのみあてはまる状況を確認し、自分たちに必要な行動を考えます。
- Step 4 時間ごとに整理してタイムラインの完成**
- 基本的行動と家族のために必要な行動を上記の時間ごとに並べます。

※上記はマイ・タイムライン作成の一例です。

自治体によってはタイムラインを作成するためのシートやホームページを用意しています。国土交通省のサイト「Webでマイ・タイムライン」(<https://www.ktr.mlit.go.jp/river/bousai/mytimeline/>)からも、手軽にタイムラインを作成することができます。



5 移動が危険なときは垂直避難を

1 夜間の避難は危険です

夜間は見通しが悪く、側溝などが見えなくなります。大雨が降っているとさらに見通しが悪くなります。夜間の避難所への避難（水平避難）は避けましょう。

2 泥水で冠水した道路も危険です

道路が泥水などで冠水すると、側溝や逆流でフタの外れたマンホール、田畑との境界が見えなくなります。



「落とし穴」にはまると、自力では脱出できず、非常に危険です。冠水した道路を通って水平避難するのは避けましょう。

3 垂直避難の方法

土砂災害の多くは木造の1階で被災しています。道路が冠水しているときや、夜間で見通しが悪いときは、上階などへ「垂直避難」しましょう。

近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難するか、それも難しい場合は家の中でより安全な場所（がけから離れた部屋や2階など）に避難しましょう。



5 避難所での感染症対策

避難所では新型コロナウイルスなどの感染症への対策をとることが必要です。主な対策には次のようなものがあります。

事前にとる対策

- マスクや消毒液、ゴム手袋や非接触型検温器、フェイスシールド、防護服代わりに使用するカッパ、パーテーションなど、**感染防止のための物資**を避難所の備蓄物資に
- 密にならない受け入れ手順、体温・体調確認の方法について定めておく
- 避難所のゾーニング、濃厚接触者等の専用スペースの確保
- 各家庭でホテルや観光の家に寄せる**分散避難を事前に検討**する

避難してからの注意事項

- マスクの常時着用
- 定期的な換気
- 避難スペースでのパーテーションの設置
- 毎日の検温と体調確認
- 調理台の消毒と小分けでの配食
- 使い捨て容器の利用
- 物資配布時に密にならない工夫
- 避難者の間で密にならないためのルールを共有
- 手指の消毒の徹底
- 共有箇所の消毒

3 災害情報の入手方法

1 既存の情報源を確認しておく

●防災行政無線

市町村が、住民へ防災情報を伝達する無線通信システムです。屋外拡声器（スピーカーによる放送）による放送が一般的です。広報車で呼びかけることもあります。しかし、大雨の際には放送が聞こえないという課題があり、戸別受信機の設置が進められています。市町村によっては戸別受信機の貸し出しをしていますので、確認しておきましょう。



音声だけではなく文字情報でも放送してくれる戸別受信機もあります。

●メール配信サービスやテレホンサービス

市町村によっては、メールアドレスを登録すると災害情報をメールで配信したり、防災行政無線で広報したものと同一内容を確認できる「災害情報テレホンサービス」（通話料がかかります）を行っています。詳しくは、お住いの市町村に問い合わせてください。



●ラジオやテレビ

情報を収集するのにラジオやテレビは有効です。通常のラジオ放送以外に、ライトや充電機能など災害時に役に立つ機能を備えた防災ラジオがあると便利です。

地元のローカルテレビやケーブルテレビのデータ放送を見れば、市町村の避難情報や避難所開設の情報を確認できます。



テレビのリモコンのdボタンを押して、矢印キーで項目を選んでください。

2 防災アプリをダウンロードしておく

無料の防災アプリの一例です。

● Yahoo! 防災速報 | 地震、津波、豪雨など、災害情報をいち早くお届け



地震、台風の雨、警報、避難勧告などを、現在地と設定した3地域まとめてニュース速報するYahoo!の防災速報アプリです。

Download on the App Store | Google Play

● NHK ニュース・防災 | NHKの最新ニュースや災害情報をスマホで



NHKの公式アプリです。マップ上で雨雲や台風・河川情報のチェック、最新ニュースや災害情報を配信します。

Download on the App Store | Google Play

● goo 防災アプリ | 防災マップ、地震・気象情報、安否確認・登録



防災・災害に関する情報の提供や、安否情報の登録・検索ができ、防災マップでは避難所の検索などが利用できる総合防災アプリです。

Download on the App Store | Google Play

3 SNSを活用する

● LINEで情報を収集する

都道府県や市町村によっては、LINEの公式アカウントを持っています。友達に追加して、災害情報等を収集しましょう。詳しくは、お住いの市町村にお問い合わせください。

LINEの例



警戒レベルに合わせた避難情報や、開設された指定避難所などの情報をお知らせします。

出典：福岡市役所

● FacebookやTwitterで情報を収集する

都道府県や市町村によっては、FacebookやTwitterで避難情報や指定避難所の開設状況を配信しています。

Facebookの例



出典：鎌早市役所

Twitterの例



出典：南陽市役所

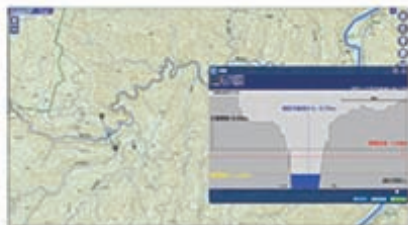
※個人発信のSNSにはデマ情報も含まれるおそれがあります。ご注意ください。

4 ウェブサイトを確認する

●官公庁のウェブサイトにて情報を収集する

●国土交通省 | 川の防災情報

気象情報（警報）、降雨や河川の水位の状況、土砂災害の危険度分布などの様々な防災情報が、国土交通省のウェブサイトから確認できます。



出典：国土交通省 川の防災情報ホームページ

●国土交通省「川の防災情報」

<https://www.river.go.jp/portal/#80>



●気象庁 | レーダー・ナウキャスト(降水・雷・竜巻)



出典：気象庁ホームページ

気象庁のウェブサイト「レーダー・ナウキャスト(降水・雷・竜巻)」では、現在の降水状況や雷・竜巻の発生状況に加えて1時間先の降水予測や発生予測も確認できます。



●気象庁「ナウキャスト」

<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>



コラム6 気象庁の高解像度降水ナウキャストで土砂災害・浸水害・洪水警報の危険度分布情報を確認!

気象庁のウェブサイト「ナウキャスト」には、土砂災害・浸水害・洪水警報の危険度分布が確認できる「高解像度降水ナウキャスト」があります。警報が出ている範囲を地図上で確認できます。危険度情報をメールやアプリで通知するサービスも行っています。



河川の洪水警報の危険度分布



大雨警報(土砂災害)の危険度分布

●気象庁「高解像度降水ナウキャスト」

<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>



出典：気象庁ホームページ

●ニュースサイトで情報を収集する

ニュースサイトでも災害情報を収集できます。以下は主なサイトの一例です。

●ウェザーニュース

<https://weathernews.jp/s/>



●日本気象協会

<https://tenki.jp/docs/note/bousai/>



●日本放送協会(NHK)

<https://www3.nhk.or.jp/news/>



●Yahoo!天気・災害・天気予報/防災情報

<https://weather.yahoo.co.jp/weather/>



危機管理ハンドブック 知っておきたい 災害情報の集め方

監修 中野 章 明治大学名誉教授
編集発行者 一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会
〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目1番19号
Tel: 03-6264-6021 Fax: 03-6264-6022
URL: <http://www.boukakkai.or.jp/>

印刷 株式会社アイネット
発行 2021年1月



宝くじは、 みなさまの豊かな暮らしに 役立っています。



宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、
少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、さまざまなかたちで、
みなさまの豊かな暮らしに役立っています。

一般財団法人 日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

 一般財団法人
日本宝くじ協会
<http://jla-takarakuji.or.jp/>